

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年1月6日(2022.1.6)

【公開番号】特開2020-130411(P2020-130411A)

【公開日】令和2年8月31日(2020.8.31)

【年通号数】公開・登録公報2020-035

【出願番号】特願2019-25129(P2019-25129)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

【手続補正書】

【提出日】令和3年11月29日(2021.11.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

当りとなる確率に係る設定の示唆演出により遊技の興趣を向上させることができる遊技機がある。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

ところで、遊技機は演出を多様化して遊技の興趣の一層の向上を図る必要がある。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

1つの側面では、本発明は、興趣を高めることを目的とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記目的を達成するために、以下に示すような、遊技機が提供される。遊技機は、遊技者が操作可能な操作手段と、操作手段を演出動作させる操作部演出制御手段と、ゲームの結果が遊技者にとって有利な有利状態を発生することとなる当りとなるか否かを判定する当否判定手段と、当否判定手段で当りと判定される複数種類の当り確率のうちから何れかを設定可能とする確率設定手段と、を備える。操作手段には第1操作手段と第2操作手段とを含む。確率設定手段の設定内容に応じて、第1操作手段または第2操作手段を演出動

作させる確率が異なる。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

1態様によれば、興趣を高めることができる。

【手続補正6】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ゲームを実行制御可能なゲーム制御手段と、

遊技者が操作可能な操作手段と、

前記操作手段を演出動作させる操作部演出制御手段と、

前記ゲームの結果が遊技者にとって有利な有利状態を発生することとなる当りとなるか否かを判定する当否判定手段と、

前記当否判定手段で当りと判定される複数種類の当り確率のうちから何れかを設定可能とする確率設定手段と、を備え、

前記操作手段には第1操作手段と第2操作手段とを含み、

前記確率設定手段の設定内容に応じて、前記第1操作手段または前記第2操作手段を演出動作させる確率が異なる構成である、

遊技機。